

令和 7 年 1 月 28 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1)重点拠点の受賞等

J-PEAKS では融合研究領域を中心に重点拠点を設置し、最先端の研究活動を展開しています。この度、重点拠点のうち、半導体産業技術研究所および放射光科学研究所において、以下の受賞がありましたので、お知らせします。

◆セミコンジャパン 2024^(※1) で寺本研究室がアカデミア Award 受賞

「東レエンジニアリング賞」

半導体産業技術研究所 寺本 章伸所長の研究室

発表タイトル:「省エネルギー社会実現のための次世代デバイス・技術に関する研究」

全 36 研究室の応募の中から、上記の賞を受賞しました。なお、セミコンジャパン 2023 では、同研究所の黒木研究室が最優秀賞を受賞しており、2 年続けたの快挙となります。

◆日本放射光学会で奥田太一副所長、角田一樹特任准教授が学会賞受賞

「高良・佐々木賞」^(※2)

放射光科学研究所 奥田 太一 副所長

発表タイトル: 高効率光電子スピン検出器の開発とその世界的普及

「奨励賞」^(※2)

放射光科学研究所 角田 一樹 特任准教授

発表タイトル: スピン・角度分解光電子分光を用いたワイル磁性体薄膜の電子構造の解明

^(※1) セミコンジャパンのアカデミア Award

「セミコンジャパン」は、SEMI ジャパンが主催し、毎年 12 月に東京で開催される半導体に関する国際展示会です。年に一度の一大イベントとして半導体産業を盛り上げ、これまで 45 回以上の開催実績があります。アカデミア Award は、大学・高等専門学校を対象とした半導体関連の優れた研究成果を表彰する賞であり、2022 年に創設され、今年は 3 回目の開催となります。

(※2)

日本放射光学会の「高良・佐々木賞」は、放射光科学分野を先導してこられた元日本放射光学会長である故高良和武氏、故佐々木泰三氏の遺徳をしのび、我が国において優れた研究成果をあげた中堅研究者に授与されます。また、「奨励賞」は、放射光科学分野において優れた研究成果をあげた若手研究者に授与されるものです。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されている。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略グループ 前田 TEL:082-424-5656 Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp
